

中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第12回)開催結果の概要

1. 日時：平成23年3月15日（火）16:00～18:00
2. 場所：合同庁舎2号館8階中西東会議室
3. 出席委員：第1部会 会長 米倉 亜州夫 広島大学名誉教授
 第1部会 委員 戸田 常一 広島大学大学院社会科学研究科
 第1部会 委員 福田 健吉 (株)日本政策投資銀行 中国支店長

4. 議事次第：

- (1) 審査対象工事の全体説明
 審査対象工事件数・・・全19件
 <件数の内訳>
 ・技術提案の審査（入札前審査・・・15件）

表1【標準型（I型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	4	-	4
PC	-	-	-	5	-	5
計	0	0	0	9	0	9

表2【標準型（II型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
PC	-	-	-	3	-	3
建築	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	4	0	4

表3【簡易型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	2	-	-	-	2
計	0	2	0	0	0	2

・評価項目・加算点の審査（公告前審査・・・4件）

表4【標準型（I型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	1	-	2	-	3
計	0	1	0	2	0	3

表5【標準II型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	1	0	1

・ 施工体制確認方 開札後整理案件・・・7件

表6【標準型（I型）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
機械設備	-	-	-	-	1	1
電気設備	-	-	-	-	1	1
計	0	0	0	0	2	2

表7【標準型（II型）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
鋼橋上部	-	-	-	1	-	1
Co舗装	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	3	0	3

表8【簡易型（従来方式）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
機械設備	-	1	-	-	-	1
計	0	1	0	0	-	1

表9 【簡易型（実績重視方式）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
機械設備	1	－	－	－	－	1
計	1	0	0	0	－	1

(2) 審査対象業務の全体説明

1) 審査対象業務件数・・・全4件

<件数の内訳>

・評価項目・加算点の審査（公示前審査・・・4件）

表5 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査・検討	－	4	－
計	0	4	0

・履行確実性確認型による開札後整理案件・・・1件

表6 総合評価方式

工種	一般競争入札	
	簡易型	標準型
発注者支援	－	1
計	－	1

5. 主な意見の概要

(工事審査)

●今回、PC工事やトンネル工事で指定テーマを多種してその結果は。

→構造物本体の品質耐久性向上については、今までも同様の提案を求めていたので、評価にほとんど差が付いていないが、社会的要請(環境等)に関しては、各社で色々な提案があり、そこで差が付いている結果となっている。

(業務審査)

●仮に履行確実性を0.75と評価した場合、業務成果も0.75の内容でよしとするのか？

→履行確実性は、あくまで入札手続きの過程で履行の確実性を評価した指標であり、契約後は契約内容に従って、100%の履行が必要である。

その他、評価手法及び評価に関する助言を頂く

◆第12回総合評価審査委員会 開札工事一覧

No.	事務所名	区分	担当課	審査対象工事	工事名	工事種別	種別	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	入札方式		総合評価方式			施工体制評価点+加算点(①+②)	①施工体制評価点				②加算点												備考						
										WTO	入札方式	総合評価方式	地元企業活用促進型	施工体制確認型		不誠実な行為における減点項目	加算点の合計②	施工体制評価点①	品質確保の実効性	加算点	技術提案				③企業の施工能力						④配置予定技術者の施工能力		⑤地域					
																					①簡易な施工計画の加算点		高度技術提案型、標準型、簡易型		①技術提案、施工計画		ア)	イ)	ウ)	エ)	オ)		ア)	イ)	ウ)	エ)	オ)	カ)
1	岡山河川	河川	施工企画課	⑦	10	旭川平井排水ポンプ増設工事	機械設備	排水機場 主ポンプ 1台 主原動機 1台 付属設備改造 一式	既設排水機場の増設工事であり、維持管理性と排水能力(ポンプ効率)の向上が重要となる。	標準型(I型)	一般競争	○	○	90.0	30	15	15	60.0	維持管理性の向上	20	ポンプ効率の向上	20	40.0	4.0	1.0	2.0						1.0						
2	浜田河川国道事務所	道路	道路工事課	⑧	10	浜田・三隅道路塚ヶ原山トンネル舗装工事	セメント・CO舗装	道路 コンクリート舗装 A=約15,490m ²	主工事がトンネル内のコンクリート舗装工事であるため、コンクリート舗装の品質・耐久性向上対策が重要である。	標準型(II型)	一般競争	○	○	85.0	30	15	15	55.0	コンクリート舗装(車道部)の品質・耐久性向上に関する施工計画	25	25.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0			1.0	20.0	5.0	5.0	10.0			
3	岡山国道事務所	道路	道路工事課	⑧	10	鳥取自動車道西粟倉地区改良その3工事	一般土木	道路改良 L= 617m 掘削 V= 37,000m ³ 盛土 V= 63,000m ³ カルバート工 N=2基	コンクリート構造物である函渠工について、品質・耐久性向上対策が重要である。	標準型(II型)	一般競争	○	○	86.0	30	15	15	56.0	現場打函渠工の品質・耐久性向上に関する施工計画	25	25.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0			1.0	1.0	21.0	5.0	5.0	10.0		
4	広島国道事務所	道路	道路工事課	7	10	広島南道路光南高架橋鋼上部工事	鋼橋上部	橋梁 鋼5径間連続箱桁橋 L=192m (25.3m+31.0m+45.0m+45.0m+44.3m)	施工箇所が住居等と近接しており、周辺住民の生活環境を保全するため騒音への配慮が望まれる。	標準型(II型)	一般競争	○	○	80.0	30	15	15	50.0	施工中の騒音対策に関する施工計画	30	30.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0			1.0	20.0		0.0				
5	広島国道	道路	施工企画課	8	10	東広島・呉道路横路・掲山トンネル非常用設備工事	機械設備	トンネル非常用施設 消火栓A型 17台、消火栓B型 13台、消火栓C型 28台、消火栓D型 1台、屋外給水栓・送水口 4台、水噴霧ヘッド 608個、火災検知器 131台、消火ポンプ 1台、自動給水装置 1基、消火ポンプ制御盤 1面、防災受信盤 1面	トンネル火災による被害を最小限にとどめる重要な設備であるが、規格品を技術基準に基づき据付ける技術的な工夫の余地が少ない工事。このうち、水噴霧設備は、初期消火にとって重要であり、その性能の確認は重要である。	簡易型(従来方式)	一般競争	○	○	67.0	30	15	15	37.0	10	水噴霧設備の総合試運転の施工管理方法に関する技術的所見	10.0	6.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	4.0	2.0	1.0	2.0			22.0	5.0	5.0		
6	広島国道事務所	道路	道路工事課	9	—	東広島・呉道路阿賀地区法面工事	法面	道路 工事延長 L=100m 掘削V=約30,000m ³ 植生工A=約3,000m ² アンカー工L=2,240m プレキャストコンクリート板N=233枚 鉄筋挿入L=5,980m		簡易型(実績重視型)	一般競争	○	○	54.0	30	15	15	24.0							0.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0			19.0	5.0	5.0	

No.	事務所名	区分	局担当課	審査対象工事		工事名	工事種別	種別	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	入札方式		総合評価方式		施工体制評価点 不誠実な行為における減点項目	①施工体制評価点 + 加算点 (①+②)	①施工体制評価点			加算点の合計②	②加算点															備考														
				評価項目・加算点の審査	技術提案の審査						工事種別	W T O	入札方式	総合評価方式			地元企業活用促進型	施工体制確認型	不誠実な行為における減点項目		施工体制評価点①	品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	技術提案			施工能力																							
																								①簡易な施工計画の加算点			高度技術提案型、標準型、簡易型 ①技術提案、施工計画			②企業の施工能力					③配置予定技術者の施工能力					④企業の実績					地域					
																								a)	b)	c)	d)	評価内容1	評価内容2	評価内容3	加算点	加算点	加算点	合計	ア)		イ)	ウ)	エ)	オ)	ア)	イ)	ウ)	エ)	オ)	カ)	キ)	ア)	ア)	合計
7	本局	営繕	技術・評価課	⑧	⑩	具合同電気設備工事	電気設備	営繕	鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建 約7,500㎡ 電気設備工事 新設一式	本工事は庁舎新築に伴う電気設備工事であり電力設備用ケーブル配線の品質確保は、建物性能を実現する上で重要である。また、社会的要請に関する事項の省資源対策等を目的として、建設副産物の3Rに関する取り組みを評価項目とする。	標準型（I型） 一般競争	○	○	90.0	30	15	15	60.0	20	建設工事の環境負荷低減対策(リデュース、リユース、リサイクル)の具体的取り組みに関する施工計画	20	40.0	4.0	2.0	1.0	1.0	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0	15.0	5.0	5.0																

日時：平成23年3月15日（火）16：00～
場所：合同庁舎2号館 8階議室

平成22年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第12回)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

【工事関係審査】

- 1) 審査対象工事の全体説明
- 2) 審査対象工事の個別説明

【業務関係審査】

- 3) 審査対象業務の全体説明
- 4) 審査対象業務の個別説明

4. 閉 会